

# 林業ミニ情報 No.135

平成28年5月

- 1 「うるし植栽2016」が開催される ..... 1  
(大子林業指導所 長山)
- 2 「カスミ共感創造の森」植樹祭が開催される ..... 1  
(笠間林業指導所 菊池)
- 3 (株)カタログハウスの木質ペレット事業への取組について ..... 2  
(土浦林業指導所 加藤)
- 4 スギコンテナ苗普及に向けた取り組み ..... 3  
(林業技術センター 幕内)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 ..... 5  
(林業技術センター 益子)

## 1. 「うるし植栽2016」が開催される

去る3月12日に大子町池田地内において、NPO法人麗潤館主催による「うるし植栽2016」が開催されました。

当日は、天気にも恵まれ、県内はもとより栃木、東京、千葉、神奈川など関東近県から52名が参加しました。大子町役場隣の集合場所では、主催スタッフが参加者を出迎え一人一人に植樹の記念として、各自の名前入りプレートを4枚ずつ手渡してくれました。主催者の心遣いに、参加者は植える前から顔もほころび、また、晴れやかな気持ちで、バス2台で植栽会場に向かいました。

植樹会場では、主催者である麗潤館の矢崎理事長の挨拶に続き、ウルシ掻き職人の岡さんから植栽方法の実演がありました。その後、5班に分かれて町有地を含めた約0.3haの未耕作の畑にウルシ苗（背丈1m程度）330本を植栽しました。

参加者は、約2時間程度でウルシの植樹を終え、自分の植えたウルシが元気に育ってくれるようお願いを込め、現地を後にバスに乗り込みました。

大子町を含む奥久慈地域のウルシは、透明度が高く世界的に高い評価を得ていますが、ウルシは、水はけが良く、日当たりの良い土地を好み、草に負けない背丈になるまでは、年に4回ほどの下刈りが必要です。また、ウルシが掻ける木になるまでには、植栽後約10年かかり、一本の木から約200グラム程度のウルシしか採集できないことから、ウルシの生産はとても根気のいる仕事です。

近年、文化庁では国内の重要文化財の修復に国内産のウルシを100%使用する計画を打ち出しており、当大子林業指導所においても、国内有数のウルシに適した土地柄であるこの奥久慈地域にウルシの植栽を進めていきたいと考えています。

（大子林業指導所 長山 洋一郎）



植樹の様子



「うるし植栽2016」の参加者

## 2. 「カスミ共感創造の森」植樹祭が開催される

去る5月7日（土）、笠間市の愛宕山において、「カスミ共感創造の森」第6回植樹祭が開催されました。

カスミ共感創造の森は、いばらき協働の森パートナーズ協定（株式会社カスミと森林

所有者、いばらき森林づくりサポートセンター（公益社団法人茨城県緑化推進機構）の3者で締結）に基づき、愛宕山の山林約7ヘクタールを株式会社カスミといばらき森林づくりサポートセンターが協力して年間約1ヘクタールづつ植樹を実施し、保育等を行う計画となっています。

当日は、株式会社カスミの小浜会長や藤田社長をはじめ、来賓の小川県会議長、井上農林水産部長、山口笠間市長、森林所有者のほか、笠間緑の少年団、下妻ガールスカウト、一般の参加者、カスミ社員など約670名が参加し、約1.1ヘクタールの会場にヤマザクラ、クヌギ、エンジュ、スギ、ヒノキなど19種、約2,900本の苗木を植樹しました。

参加者からは、「すごく楽しかったのでまた参加したい。」「山林の中で汗を流して苗を植えることができとても気持ち良かった。」「将来、大きく育った木を見てみたい。」などの声が聞かれました。

当林業指導所では、企業のこのような環境保全活動に対して引き続き支援することで森林整備を推進するとともに、一般県民を対象に森林整備に対する意識の醸成を図っていきたいと考えています。

（笠間林業指導所 菊池 正浩）



植樹の様子



植樹祭への参加者

### 3. (株)カタログハウスの木質ペレット事業への取組について

通信販売カタログ誌「通販生活」で有名な株式会社カタログハウスが、石岡市内で木質ペレット事業に参入するとともに、地元の森林の購入・管理や都市住民と地域住民との交流イベントの開催など、自然環境の保全と消費者への普及啓発など幅広い活動を行っているので紹介します。

同社では、自然環境への配慮を意識した事業展開として、間伐材を利用した木質ペレットの生産を平成26年12月から開始し、平成27年度には約250トンの木質ペレットを製造しており、今後も機械や施設を増設して、生産量の拡大を進めることとしています。

木質ペレットは、国産のペレットストーブとセットで販売するなど、合理的な販売戦略をとっており、購入者からのペレットストーブの評判も良いことから、売れ行きは好調とのことでした。

また、販売している木質ペレットにもこだわりがあり、つくばね森林組合をはじめとする県内の林業事業体から供給された茨城県産間伐材（千葉県在住の方には千葉県産）の杉・ヒノキの樹皮を取り除いたホワイトペレットのみを生産しており、火力が強く灰が非常に少ないため使いやすく、片付けもしやすくなっています。

木質ペレット事業と関連して、会社では約18haの森林を石岡市内に購入し、森林の管理や原材料調達のための間伐作業や作業道づくりを行う社員を育成しています。最近では、地元の森林所有者から依頼されて、間伐作業の受託も行っています。当指導所では、間伐の際に、高性能林業機械のレンタル支援事業等の活用について指導を行っています。

さらに、同社では木質ペレットの購入者等を対象に、常陸太田市の原木シイタケ生産者や笠間市の竹細工生産者を講師として招いてのイベントの開催や、森林・林業に係る情報誌として「ソロー通信」を発行するなど、地域交流や情報発信にも力を入れています。

今後は、会社が得意としている消費者とのつながり作りのノウハウを活かし、都市住民と山村地域や森林との交流事業にも積極的に取り組んでいかれるとのことでした。

当指導所では、間伐等の森林整備を促進するため、木質ペレット等による間伐材利用の普及啓発や、間伐材の効率的な供給を担う林業事業体への指導を行ってまいります。



ペレットストーブのあるショールーム



間伐後の様子

(土浦林業指導所 加藤 智一)

#### 4. スギコンテナ苗普及に向けた取り組み

コンテナ苗は、植栽時期の幅が広く植付けが容易であることから、再造林の低コスト化に向けて期待されていますが、本県民有林での植栽実績は無いのが現状です。

そのような中、従来の裸苗と異なるコンテナ苗の取扱や植付方法を各森林組合職員等が習得することを目的に、森林組合連合会（以下、「県森連」）が実施する「スギコンテナ苗による植栽実証事業」が、4月27日（水）に開催されたつくばね森林組合（約20名参加）を皮切りに、県内8森林組合系統で行われます。

その一環で、「コンテナ苗植付講習会」等が、5月13日（金）には常陸太田林業振興会主催（約30名参加）で、5月17日（火）には大子町森林組合主催（約30名参加）で、5月

18日（水）には常陸大宮市林業振興会主催（約40名参加）で開催されました。

当日は、江幡会長から本講習会の趣旨等のあいさつに続いて県北農林事務所の加藤林務部門長からあいさつがありました。その後、コンテナ苗の運搬方法や裸苗との違い等について林業種苗協同組合の大越事務局長から、植付方法の実演や留意点等について県森連の二方森林整備係長からの講習を受けました。最後に、低コスト再造林を進める上でのコンテナ苗の必要性、県林業技術センターの研究の現状等について鴨志田センター長が説明を行いました。コンテナ苗の植栽は、専用の穴掘り用具「ディブル」等を使用し各地区200本植栽したほか、生長や活着率が比較できるように、併せて裸苗も植栽しました。



コンテナ苗植栽実演の様子



コンテナ苗植栽の様子

なお、大会会場ではあいにくの雨模様であったため植栽終了後室内に場所を移して実施した意見交換会では、「コンテナ苗は段ボールに入っているため、一度に運べる量が少ない」、「コンテナ苗は活着が良いとのことだが、その後の生長が気になる」、「斜面では、ディブルよりも唐鍬のほうが使いやすい」などの意見があったので、今後コンテナ苗を普及させていく上での参考としたいと考えます。

当センターにおいては、今年度の普及指導の重点推進課題の一つとして「低コスト再造林の普及」を掲げ、コンテナ苗の生産促進と普及を目標にした指導所横断的なチームを設置し、目標達成に向けて取り組むこととしています。また、研究部門では、播種時期を春から秋に早めるなどして育苗期間を短縮する研究を開始しました。

今後も研究部門と連携することにより、研究成果を迅速に現地に情報提供し、コンテナ苗の生産技術の向上や森林所有者等への普及に取り組んでいきたいと考えております。

（林業技術センター 幕内 裕二）

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成28年)

単位：円/m<sup>3</sup>

区分	樹種	規格	種類	H27年平均	H28年時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
素材	国産材	スギ	3.00×14~20	柱材	11,200	11,300	13,400	11,700	10,600	9,300									
			3.65×18~28	中目材	10,700	10,800	11,200	10,500	11,100	10,300									
			4.00×8~13	小径材	12,000	12,300	14,100	13,100	11,600	10,200									
	ヒノキ	3.00×14~20	柱材	14,300	14,900	15,400	15,300	14,600	14,300										
		4.00×18~28	中目材	16,000	15,800	16,900	16,200	15,300	14,900										
		4.00×8~13	小径材	12,100	11,400	12,800	11,600	9,900	11,300										
	外材	米ツガ	11.00×径・36	コースト	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000									
			11.00×径・28以下	j・ソート	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000									
		米マツ	11.00×径・40	カスケード	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000									
			11.00×径・36	コースト	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000									
11.00×径・28以下		j・ソート	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000											
カラマツ		4.0	込	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000										
エゾマツ	3.8	並材	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000											
製材	国産材	スギ	3.00×10.5×10.5	柱①	55,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000									
			4.00×10.5×10.5	柱③	50,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000									
			3.65×1.4×10.0	ヌキ	56,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000									
			3.65×3.6×4.5	タルキ	53,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000									
			3.65×4.5×10.5	敷居・鴨居	150,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000									
			4.00×9.0×9.0	母屋	42,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000									
	ヒノキ	3.00×12.0×12.0	柱①	110,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000										
		4.00×12.0×12.0	土台	110,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000										
		4.00×4.5×10.5	敷居・鴨居	380,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000										
	外材	マツ	4.00×12.0×24.0	平角	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000									
			米ツガ	3.00×10.5×10.5	柱	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000								
		4.00×9.0×9.0	母屋	70,000	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000										
		米マツ	4.00×12.0×24.0	梁	58,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000									
		米ツガ	4.00×12.0×12.0	注入土台	75,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000									
		エゾマツ	3.80×3.0×4.0	タルキ	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000									
	製集成材	3.00×10.5×10.5	柱	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000										

注) WW(ワイドワット)製集成材は、1本あたりの単価をm<sup>3</sup>に換算  
 カスケード：大陸中央部カスケード山脈から産出される目詰みの材  
 コースト：太平洋沿岸部コースト山脈から産出される目詰りの材  
 j・ソート：北米における末口径11インチ下の細丸太、または日本向け丸太

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
27	着工数	1,623	1,795	1,862	1,772	1,782	2,134	1,957	1,886	1,911	2,224	1,661	1,703	22,310
	木造数	1,127	1,151	1,098	1,316	1,298	1,456	1,399	1,421	1,391	1,445	1,149	1,174	15,425
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	74.3%	72.8%	68.2%	71.5%	75.3%	72.8%	65.0%	69.2%	68.9%	69.1%
	累計	1,623	3,418	5,280	7,052	8,834	10,968	12,925	14,811	16,722	18,946	20,607	22,310	
28	着工数	1,412	2,007	2,079										5,498
	木造数	1,070	1,286	1,639										3,995
	木造率	75.8%	64.1%	78.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	72.7%
	累計	1,412	3,419	5,498	5,498	5,498	5,498	5,498	5,498	5,498	5,498	5,498	5,498	

